



地域でボランティアとして活躍している「活動者」をリレー方式で紹介します。

今回は傾聴の会「ぞうの耳」の鈴木和夫さんからバトンを引き継いだ「ボランティア音楽会 あおぞら」の熊倉あい子さんに、活動内容や活動をはじめたきっかけなどをお聞きました。



熊倉あい子さん

Q 現在どのような活動をされていますか？

主に文京区の高齢者施設を訪問して定期的に演奏会を開催し、施設の皆様と一緒に楽しく歌っています。

Q 活動をはじめたきっかけは何ですか？

長年自営業をしていましたが、廃業を機に何かしたいと思っていました。そんな時「ボランティア音楽会 あおぞら」のメンバー募集の記事を見て、大塚高齢者在宅サービスセンターでの演奏会を見学に行きました。そして、施設の皆様と一緒にいきいきと歌っている団員の姿や、きれいな歌声に感動し、自分もやってみたくと思いました。



ボランティア音楽会 あおぞらさんの活動の様子

Q 活動をする上でやりがいに思うことは何ですか？

新曲を披露するために長い時間をかけて練習し、それを施設の皆様に聞いていただいたり、一緒に楽しく歌ってもらえることがとても嬉しいです。また、帰り際に「楽しかったよ」と声を掛けられたりすると、頑張った良かったと思います。

Q これから何かはじめていたいと思っている方へのメッセージをお願いします

ボランティアを続ける秘訣は、相手を喜ばせるだけでなく、自分も楽しんで活動することだと思います。これから何か始めようと思っている方は、気軽にボランティアセンターを訪ね、自分が楽しめそうな活動があるかどうかお聞きすることをお勧めします。また、音楽ボランティアに興味のある方は、「ボランティア音楽会 あおぞら」の活動をぜひ見学にいらしてください。

ボランティア音楽会
あおぞらさんの詳細は
こちらから



※今回は熊倉あい子さんよりバトンを引き継いだ「りぶりんと・文京」の雨貝安代さんを紹介いたします。

地域連携ステーション ボランティア担当 TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966 Eメール vorasen@bunsyakyo.or.jp



どっとフミコムでは、ボランティア情報やワークショップ・イベント、文京区で活動されている団体の紹介など、さまざまな地域活動の最新情報を見ることができます。気になる情報は、どっとフミコムのサイトでチェックしてみてください！



<https://d-fumi.com>

ご相談
ください

ボランティアに関心がある方、興味を持った方、

やってみたい！ してほしい 話を聞きたい！

など、ボランティアについての質問や問合せ、ご相談を下記の地域連携ステーションボランティア担当までご連絡ください。

発行 社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 地域連携ステーション

<https://www.bunsyakyo.or.jp>

〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-14 文京区民センター地下1階

開所日 月～金曜日(祝日年末年始除く)

TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966 Eメール vorasen@bunsyakyo.or.jp

窓口開所時間 8:30 ~ 17:15

ぼらんていあニュースは、封入ボランティアの皆さんのご協力のもと、お届けしています。いつもご協力ありがとうございます。

あなたらしく。はじめる、つながる。きっかけ応援誌！

ぼらんていあ 夏 ニュース

TAKE
FREE

ご自由に
お持ちください



令和6年6月発行

TOPICS

1 なつぼら2024のご案内

3 なつぼら2023参加者インタビュー

2 点訳講習会のご案内/ボランティア募集情報

4 バトンをつなげる～活動者の声～

なつぼら 2024でぼら活デビュー！

「体験型」プログラム！

区内で活動している団体や施設などに実際に行って、さまざまな活動を体験します。

ボランティア活動に興味はあるけど「自分にできることって何だろう」「きっかけがつかめない」などの理由で、はじめの一步を迷っている方はいませんか。

文京区社会福祉協議会では、夏の期間にボランティア活動への関心と理解を深めるとともに「さまざまな人との出会い」や「新たな自分を発見する」ことなどを目的に「なつぼら2024」を開催します。



車いす体験

私の何気ない(不自由のない)普通の生活に“不便”と日々感じて過ごされている方もいらっしゃることに気付かされました。

身の回りの花は、誰かが手入れしてくれているからきれいに咲いているのだと改めて分かった。



保育園で子どもとの触れ合い



花壇のお手入れ

写真は昨年度の様子

小さくても相手を尊重した行動をとることの大切さと命を預かる保育という仕事の素晴らしさ、そして何より小さな子のかわいらしさを感じた1日となりました。



https://www.bunsyakyo.or.jp/service/summer_volunteer

※開催についての詳細は、6月中旬に文社協HPで公開させていただきます。

地域連携ステーション ボランティア担当 TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966 Eメール vorasen@bunsyakyo.or.jp

点訳講習会のご案内

文京区社会福祉協議会では、
点訳ボランティアを養成するための講習会を開催します。

日時 10/1 ~ 12/3 毎週火曜日(全10回)
10:00~12:00

会場 文京区民センター内
(文京区本郷4-15-14)

申込期間 7/10(水) ~ 8/13(火)

申込方法 下記ホームページで募集要項を確認の上、
フォームから申込
<https://www.bunsyakyo.or.jp/>

対象 講習会修了後に文京区内でボランティア活動を希望する方

定員 10名(定員を超えた場合は抽選)

費用 テキスト代 770円(税込み)

運営 サークル・六点会

点訳って
なあに?

点字は、目の見えない方や見えづらい
方が触って読む文字です。
文字を点字に翻訳することを、点訳と
いいます。

問合せ **TEL** 03-3812-3114 **Eメール** vorasen@bunsyakyo.or.jp

日本語ボランティア募集

「ABK 留学生友の会 日本語くらぶ」では、日本に住んでいる外国人の方と日本語で交流しながら、会話上達の手助けをしてくださるボランティアを募集しています。外国語の知識は一切必要ありません。見学も大歓迎ですので、ご興味のある方はご希望の曜日の担当者までお問合せください。

日時 毎週火曜日と木曜日(祝祭日除く)
18:30~20:30

会場 アジア文化会館2階
(文京区本駒込2-12-13)

内容 外国人の方と交流しながら、日本語の学びを
サポートする

その他 継続的な活動を希望する方には、
年会費として2,000円をいただいております。

問合せ **火曜日 TEL** 090-2227-1855(畠山) **木曜日 TEL** 090-8514-2628(稲葉)

ファール昆虫館でのボランティア募集

ファール昆虫館では、受付やエサやりをお手伝いして下さる
ボランティアを募集しています。昆虫に興味のある方はお気軽
にお問合せください。

中学生からご年配の方まで、
幅広い年代の方が活躍してい
ます!

日時 毎週土・日曜日13:00 ~ 17:30

会場 ファール昆虫館
(文京区千駄木5-46-6)

内容 来館者の受付(パンフレット配布、来館者カウント)、
展示昆虫のエサやりやケアなど

対象 ①中学生以上
②昆虫の扱いに抵抗がない方
③LINEやメールで簡単なメッセージのやり取りができる方

交通費 往復1,000円まで支給

問合せ **TEL** 03-3812-3114 **Eメール** vorasen@bunsyakyo.or.jp



なつぼら2023 参加者インタビュー ~挑戦から得た新しい自分~



「東洋大学2年生の依田さん」に、なつぼら2023に参加したきっかけや
ボランティア活動に対する思いについて、お話をお伺いしました。

「なつぼら2023」に参加したきっかけは?

夏休み期間に何か新しいことに挑戦したいと考えたからです。なつぼらは1日から参加ができるボ
ランティアなので、長期間のボランティア活動を継続することへ不安を抱いた自分にピッタリだと思
いました。

大学で高齢者福祉の授業を受けていたため、施設の実態はどのようなのかという興味もあり、高齢者
在宅サービスセンターと文京区社会福祉協議会から紹介された1Dayプログラムの運営ボランティアに
参加させていただきました。

「なつぼら2023」に参加してどうでしたか?

高齢者在宅サービスセンターでは、脳トレやレクリエーション等への参加を通して、利用者さん
との交流などを行いました。最初は緊張して上手にコミュニケーションを取れなかったのですが、お天
気やスポーツなどのお話をするうちに緊張から解放され、利用者さんが笑顔で話しかけてくださった
時は、とてもうれしかったです。そして、職員の方々が利用者さん一人一人に向き合っていてレクリエ
ーションの内容を考え、些細なことまで気配りをなさっているからこそ施設として成り立っていると実
感しました。高齢者施設については、教科書に書いてある基本的な知識しか知りませんでしたが、実
際にこのような場でボランティア活動ができたことで、多くのことを学ぶことができました。

また、なつぼら1Dayプログラムの運営ボランティアでは、「ジェンダーを知ろう」というブースを担
当し、性別役割分業や男女差別について理解していただけるように工夫してジェンダーに関する絵本
や資料、かるたを使用して参加者の方々との交流を行いました。社会的・文化的に構築された性を覆
すためにも、子どもたちに幼いころからジェンダーについて考えてもらうことが、重要だと学ぶこと
ができました。

ボランティア活動に対する思いを聴かせてください。

なつぼらでの経験を活かし、現在は高齢者の方々と交流を行うプロジェ
トや文京区社会福祉協議会主催の災害ボランティア講座などに参加してい
ます。ボランティアと聞くと多くの人が堅苦しいイメージを抱くかもしれ
ません。しかし、ボランティア活動は自分が周囲に与える影響よりも、はる
かに周囲から得る影響が大きいと感じます。ボランティアの現場では、常
に新しい発見や、価値観が生まれ大きな達成感を得ることができるため、今
後もボランティア活動を継続していきたいと思えます。

